

科目名	メンタープログラム							年度	2026
英語科目名	mentor program							学期	前期
学科・学年	応用生物学科 2年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	森内 寛・河内 隆		教員の実務経験	無	実務経験の職種				

**【科目の目的】**

1年生（メンティ）の学科での学習のサポートを行うことにより、自身の社会活動における指導力やマネジメント力の向上を目指す。

**【科目の概要】**

メンティの学習サポートや、相談を受ける事により、指導力を向上させるだけでなく、自身の一年間の成長を実感する。

**【到達目標】**

- A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。
- B. メンティと円滑にコミュニケーションをとることができる。
- C. メンティと相談に適切なアドバイスを送ることができる。

**【授業の注意点】**

授業時数の4分の3以上出席していない場合は、成績判定対象外。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	本科目の授業に無遅刻・無欠席である。		本科目の授業に1回だけ遅刻または1日欠席した。		本科目の授業に2回以上遅刻または2日以上欠席した。
到達目標 B	メンティと円滑にコミュニケーションをとることができる。		メンティとコミュニケーションをとることができる。		メンティとあまりコミュニケーションをとることができなかった。
到達目標 C	メンティと相談に適切なアドバイスを送ることができる。		メンティと相談にアドバイスを送ることができる。		メンティと相談に送ったアドバイスが適切でなかった。
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

なし

**【参考資料】**

必要に応じて、プリントを配布する。

**【成績の評価方法・評価基準】**

課題や授業内に行われる発表、積極的な授業の参加度など総合的に判断し評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		メンタープログラム			年度	2026	
英語表記		mentor program			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	事前研修	メンタープログラムにおけるメンターの役割りについて学ぶ。	1	メンタープログラムとは	メンタープログラムを理解し、メンターの役割りを認識する。	1	
			2	メンタリング	メンティに必要なサポートについて理解する。	1	
2	マッチング	メンターとメンティをマッチングする。	1	自己紹介	自己紹介を行い、お互いの状態を理解する。	1	
			2	マッチング	マッチングしたメンティと話をし、メンティの状況を把握する。	1	
3	メンターシップ①	メンティとの面談	1	学科の学習について	学科での学習について、自身の経験を踏まえてアドバイスを行う。	1	
			2	メンティへの支援	学科での学習について、メンティの相談に的確なアドバイスを送る。	1	
4	メンターシップ②	メンティとの面談	1	レポート作成について	レポート作成について、自身の経験を踏まえてアドバイスを行う。	1	
			2	メンティへの支援	レポート作成について、メンティの相談に的確なアドバイスを送る。	1	
5	メンターシップ③	メンティとの面談	1	資格試験について	資格試験について、自身の経験を踏まえてアドバイスを行う。	1	
			2	メンティへの支援	資格試験について、メンティの相談に的確なアドバイスを送る。	1	
6	メンターシップ④	メンティとの面談	1	テスト対策について	テスト対策について、自身の経験を踏まえてアドバイスを行う。	1	
			2	メンティへの支援	テスト対策について、メンティの相談に的確なアドバイスを送る。	1	
7	メンターシップ⑤	メンティとの面談	1	進路について	進路について、自身の経験を踏まえてアドバイスを行う。	1	
			2	メンティへの支援	進路について、メンティの相談に的確なアドバイスを送る。	1	
8	まとめ	第1回から7回までの内容を総復習する。	1	第1回から7回までの内容を総復習する。	第1回から7回までの内容を理解している。	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等